

# ふくろいスマイル座談会 ⑭高南地区

【開催概要】 総合計画及び都市計画マスタープラン策定のために、地域の未来について、大場市長と住民との意見交換を行う「ふくろいスマイル座談会 高南地区」を以下の通り開催しました。

日時	令和6年10月27日(日)13時30分～15時15分
場所	東海アクシス看護専門学校 体育館【参加人数:21人】
内容	1 開会 2 まちづくり協議会/会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 (1)袋井市総合計画策定の進め方について (2)袋井市都市計画マスタープランの見直しについて (3)地区まちづくり協議会における「活動方針」の策定について (4)質疑応答 5 意見交換「袋井の未来のコト」や「地域の将来のコト」など 6 閉会



## 「ご意見・ご提案」用紙から

- いつでもどこでも書籍に触れられる環境をつくる「まちじゅう図書館」の取組は素晴らしい、あわせて「郷土資料の保存」「所蔵機能の充実」の2つを充実させて欲しい。
- 能登半島地震から10か月、早期に日常生活にもどれるようにするための事前の復旧復興計画が必要と強く感じる。
- 浅羽支所内にある「茶文化資料館」を、法多山など県外からも人が訪れる場所を活用し、お茶の袋井をPRしたらどうか。

## ●当日の意見交換の主な内容（※現総合計画の「政策」分野ごとに整理しました）

### 安心・安全に暮らせるまち

- 高南地区は水害対策が第一課題。早期に前倒しで行ってほしい。  
⇒常に認識している。注力していく。
- 耕作放棄地対策を行い、川の上流で水を貯められるようにしてほしい。  
⇒治水対策を最優先に考え、引き続き情報交換をしながら進めていきたい。
- ポンプ場ができるまでの間、通水断面確保のため水路の除草浚渫を年に2回は行ってほしい。地域も協働する。  
⇒地域との協働は、力強く思う。除草浚渫の対応が年に何回出来るか約束はできないが、必要な対応をしていく。
- ポンプ場が止まらないように、定期的に点検してほしい。  
⇒前回停止の原因と止水壁の設置は完了している。定期点検は実施していく。
- 水害に対して、安心安全の宣言をしてほしい。  
⇒高南地区の治水対策に加え、流入先となる太田川の下流の浚渫や河道拡幅も国県に要望しているところ。ポンプ場の整備の暁には、安全宣言ができるよう取り組んでいく。地域のお力添えも引き続きお願いしたい。
- 山崩れによる水害の心配がある。  
⇒様々なリスクが考えられるので、リスクを排除できるところから進めていきたい。

### 市民がいきいきと活躍するまち

- デジタルを活用した情報発信や交換をしたい。デジタル化に際し、住民がスキルアップが出来る行政窓口を作ってほしい。  
⇒デジタル化のスキルアップや情報格差を縮小していきたい。また、使いやすいアプリの選択、多くの方に情報発信ができる仕組みづくりをしていきたい。

### 子どもがすこやかに育つまち

- 部活動が地域移行する中で、活動内容や運営方法を教えてください。  
⇒地域移行が順調に進むように、教育委員会に専門部署を作って対応中。活動によってケースバイケースの対応になる。地域が受け皿となって運営できるよう一緒に考えて欲しい。

### 快適で魅力あるまち

- 大和ハウス工業の跡地の利用の話があったが、どうなっているか知りたい。  
⇒まずは、土橋地区への工場の移転をスムーズに行うことに注力している。
- 袋井駅の南北出口、市民から募集した秋葉口・駿遠口の名称を使用してほしい。  
⇒名称には意義があり価値のあること。状況に応じ、積極的に使用していく。

### 健康長寿で暮らしを楽しむまち

- 介護保険制度の改正で、和らぎの湯のデイサービスが利用できなくなり困っているという声や、支援が必要な方が、支援サービスの時間が短縮され困っているという声があった。  
⇒和らぎの湯のデイサービスは、11月から利用できるようになると承知している。また、サービス時間の短縮は、認定の 카테고리を再確認していただきたい。介護認定に課題があるのかもしれない。困りごとや詳細については対応していくので、行政に相談していただきたい。